

■さらなる安全性の向上

- 対面通行による暫定2車線区間は、4車線区間に比べて、交通事故が発生した場合、死亡事故となる割合が高くなっています。
- 4車線化により、中央分離帯を設置し上下線が分離されることで、対向車線への飛び出しを防止し、安全性が向上することが期待されます。

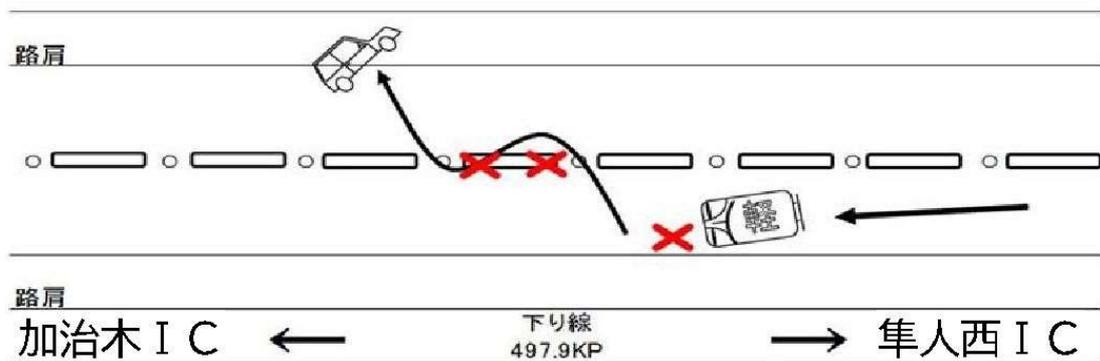
●交通事故による通行止め事例

発生日) 令和3年4月22日(木曜)

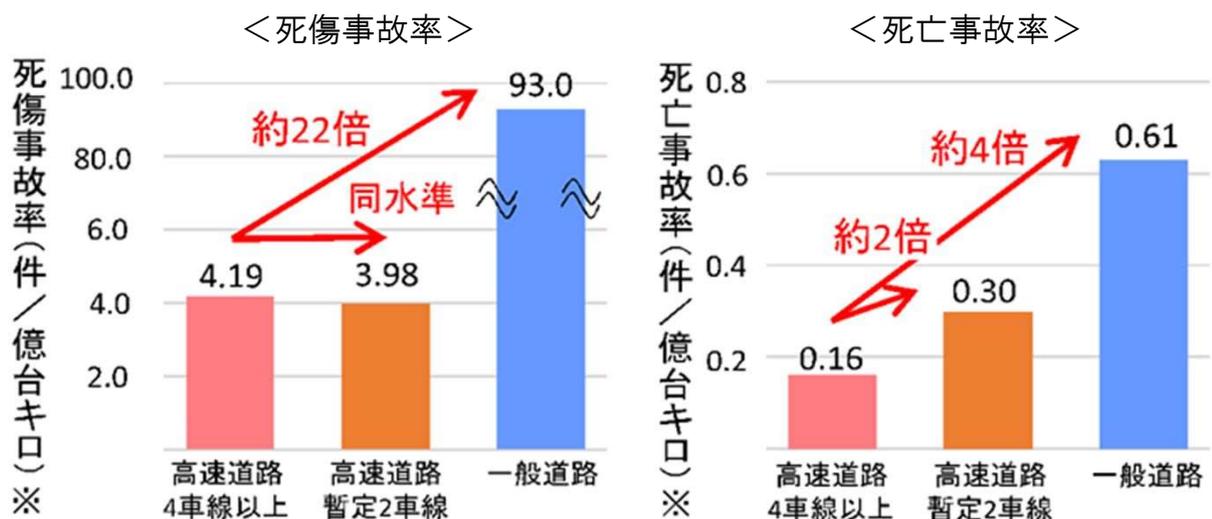
発生場所) 隼人西IC~加治木IC

事故概要) 隼人西から加治木方面へ進行中の車両が、ハンドル操作を誤り対向車線へ突破したもの

1時間34分の通行止め



●暫定2車線と4車線以上の事故率



出典 道路分科会第13回事業評価部会(H28.3.10)

4車線化により上下線を分離することで、
対向車線への飛び出し防止など安全性が向上